

令和8年5月 加茂市長定例記者会見
令和8年5月7日（木）10:00～

1. 地域おこし協力隊（移住・定住促進）の委嘱について・・・政策推進課
 - ・ 移住・定住の促進を目的として柳澤 萌映さんを地域おこし協力隊として委嘱しました。

2. 地域おこし協力隊（木工・箆笥の技術承継・担い手）を活用した人材確保の取組について・・・商工観光課
 - ・ 木工、箆笥の技術承継・担い手を目的として館岡 柊介さん、箭内 理乃さんを地域おこし協力隊として委嘱しました。
 - ・ 加茂市観光協会を受入団体とする地域おこし協力隊の募集も行っています。

3. 加茂市物価高騰くらし応援給付金について・・・・・・・・・・・・総務課
 - ・ 未申請の世帯主には、4月27日付で再度ご案内を発送しました。
必ずお手続きをお願いいたします。

1. 地域おこし協力隊の委嘱について

加茂市では、移住・定住の促進を目的として地域おこし協力隊を1名募集し、令和8年4月1日付で委嘱しました。

着任されたのは、柳澤 萌映さんです。柳澤さんは、民間事業者である「きら星株式会社」の社員として所属しながら、個人として加茂市地域おこし協力隊として活動していただきます。

長野県長野市出身で、東京都での勤務を経て、現在は新潟県三条市において移住・定住促進業務に従事しており、即戦力としての活躍を期待しています。

なお、この事業は、きら星株式会社へ業務委託する形で実施するものであり、同社は県内の他自治体においても移住促進分野での実績があります。今回、その知見やノウハウを加茂市にも取り入れることで、より効果的な移住施策の展開を図るため、民間委託をさせていただきました。

今後の具体的な活動は、移住希望者への情報発信の強化、移住相談対応、移住体験の企画・運営などを通じて、加茂市の魅力を広く発信し、加茂市を移住先として選んでいただけるよう取り組んでいきます。

2. 地域おこし協力隊を活用した人材確保の取組について

加茂市では、これまで木工・箆笥職人の技術承継や、担い手不足の解消に向け、仕事体験インターンシップツアーの開催など、後継者育成に向けた取組を進めてきました。

このたび、令和8年4月1日付で舘岡 柝介さん、箭内 理乃さんの2名を地域おこし協力隊として委嘱しました。このお二人は現在、市内の事業所で将来の木工職人としての技術習得に励んでいます。

今回の受入れは、長年の課題であった木工業の担い手不足解消に向けた大きな一歩であるとともに、移住促進による人口減少対策にもつながる取組です。今後も関係団体と連携しながら、伝統的な地場産業の持続的な発展につながる取組を進めていきます。

また、人材確保や交流人口の増加、地域活性化の推進に関連して、加茂市観光協会を受入団体とする地域おこし協力隊の募集も行っています。

観光協会は今年度より事務所を穀町商店街にある加茂土産物センター・インフォメーションセンターへ移転し、加茂市の観光拠点として新たにスタートしました。加茂市が持つ観光資源や新たな魅力を発掘し、発信する役割を担っていただける方の応募をお待ちしています。

応募方法や報酬など詳しい募集内容は、加茂市観光協会のホームページをご覧ください。

3. 加茂市物価高騰くらし応援給付金について

3月の定例記者会見でもお話ししたとおり、加茂市では、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、市の物価高騰対策として、全市民を対象に1人あたり1万円の現金給付を実施しています。

給付の対象者は、令和8年1月1日時点で加茂市に住民登録がある方とその世帯で、令和8年1月2日から3月31日までに生まれた児童が対象です。

これまで多くの皆さまより申請をいただきましたが、まだ申請がお済みでない世帯が約1200世帯いらっしゃいます。その世帯主の方を対象として4月27日に再度ご案内を発送しましたので、必ず手続きをお願いいたします。

なお、この給付金についての申請締切が6月1日までとなっていますので、ご案内に同封の返信用封筒にてご返送いただくか、市民課横ギャラリーの給付金受

付窓口へ直接ご提出をお願いいたします。

詳しい内容については、広報かも4月号または市のホームページをご覧ください。